

平成 28 年度湘南台高等学校不祥事ゼロプログラム

湘南台高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり平成 28 年度不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

平成 28 年度湘南台高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長・教頭がこれを補佐する。

2 目標及び行動計画

本年度は特に次の（１）～（９）の目標について、重点的に達成を目指す。他の不祥事に係る案件については、最も適切な時期に、その案件にふさわしい方途で防止対策を講じる。

また、外部講師による研修会を 1 回以上開催する。

（１）法令遵守意識の向上

ア 目標

教育公務員としての自覚を持ち、信用失墜行為を起こさない。

イ 行動計画

- i 不祥事に係る新聞記事等の掲示や職員間のコミュニケーション等を通じて、不祥事防止に関する認識を深める。
- ii 「神奈川県職員行動指針」の内容を、繰り返し職員に周知する。

（２）わいせつ・セクハラ行為の防止

ア 目標

人権意識を高め、わいせつ・セクハラ行為を防止する。

イ 行動計画

- i 職員全員参加の事故防止会議において、実際の事例や行政課作成の職員啓発資料等を活用して、研修する機会を設ける。
- ii 携帯電話等の使用において、職員個人のアドレスからの発信およびメールや SNS 等の不適切な使用をしないよう、具体的な事例を示して職員に周知を図る。

（３）体罰・不適切な指導の防止

ア 目標

生徒の人権を保証し、生徒への体罰や不適切指導を防止する。

イ 行動計画

- i 職員全員参加の事故防止会議等において体罰防止のガイドラインや啓発資料を配付して、体罰・不適切指導の発生を未然に防ぐ。
- ii 生徒向け相談窓口等、校内で生徒が相談しやすくなる雰囲気醸成する。

(4) 成績処理及び進路関係書類の作成・取扱いに係る事故防止

ア 目標

厳正確実な成績処理を行うとともに、調査書・推薦書等の発行には慎重を期す。

イ 行動計画

- i 成績処理マニュアルに基づいた確実な業務を徹底するとともに、点検シートを活用して、点検の精度を上げる。
- ii 調査書・推薦書の作成及び取扱いには、学年・グループ及び管理職による、組織的な点検体制により事故を防ぐ。

(5) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策

ア 目標

個人情報の取扱いには細心の注意を払い、流出や紛失を防ぐ。

イ 行動計画

個人情報の校外持ち出しは極力控え、持ち出す際には許可願の申請と、直帰を徹底する。

(6) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

ア 目標

交通法規の遵守や交通マナーの向上を図り、無事故・無違反を目指す。

イ 行動計画

- i 私的利用を含めて、常に安全運転をすることを職員に呼びかける。
- ii 年末年始・学期末等の酒席に臨む際は深酒を控えるとともに、当日は勿論のこと翌日の運転も控えるよう呼びかける。

(7) 業務執行体制の確保等

ア 目標

職員間における必要な報告・連絡・相談を迅速かつ適切に行い、事故を未然に防ぐ。

イ 行動計画

- i 職員間での情報の共有化を図り、風通しのよい職場づくりを進める。
- ii 衛生委員会を定例開催し、執務環境の向上を通じて職員の勤務実態の改善を目指す。

(8) 会計事務等の適正執行

ア 目標

公費及び私費の会計事務をルールに沿って厳正に行う。

イ 行動計画

- i 全職員参加の事故防止会議において私費会計に係るマニュアルを配付し、意識の啓発と私費会計基準の周知徹底を図る。
- ii 計画的な予算立てと適正な執行が行えるよう、常に執行状況を確認しながら時宜に合った速やかな執行を行う。

(9) 入学者選抜に係る事故防止

ア 目標

入学者選抜業務要項に基づいて、適正に業務を進める。

イ 行動計画

- i 文書・データ等の事務処理及び管理は、常に複数の職員で厳正に行う。
- ii 学力検査・面接を遺漏なく遂行するため、全職員での要項の読み合わせのほか、面接研修を複数回実施して面接の精度を高める。

3 検証

(1) 中間検証

2に規定する行動計画について、平成28年9月末までに実施状況を確認し、取り組みが十分でなかったものについては、平成28年12月までに補完措置を講ずる。また、目標達成に向けて行動計画を修正する必要がある場合は、必要な修正を行う。

(2) 最終検証

2に規定する行動計画について、平成29年3月までに実施状況を確認し、目標達成についての評価を行う。その結果を基に、3月の事故不祥事防止会議で達成状況の検証を行う。

4 実施結果

3(2)の検証を踏まえ、「検証結果」を取りまとめたうえで、教育委員会に報告する。

5 事務局

プログラムの策定及び実行の具体的手続きについては、企画会議（事故防止会議）がこれを行う。